

令和元年度第1回学校評議員会記録

日時：令和元年6月13日（木）9:30～11:10

場所：音楽室

1 開会行事 9:30～9:40

- (1) 開会のことば（副校長）
- (2) 学校評議員委嘱（開会前に実施）
- (3) 校長挨拶

日頃より皆様方には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。今年度は5月に令和と年号が変わりましたので、充実した令和の時代にしようとして進んでいます。5月25日の運動会は、全員一丸となり、また崎山中学校や宮古北高校の生徒のサポート、そして、保護者の方々等の支援もあり、おかげさまで記憶に残るものとなりました。感謝申し上げます。そして、本日の授業参観でも、小学部、中学部、高等部それぞれの学部で、子ども達がそれぞれの障がいなどを抱えながら精一杯力を発揮している姿と、職員がその特性に応じた指導を工夫している様子を見ていただけないかと思っております。

本日は1回目の学校評議員会ということで、今年本校が目指しているものについてお伝えしていきます。開かれた学校にしていくことが、一人ひとりの子ども達のために必要なことだと思っております。関係者の方々、地域の方々のご意見を取り入れていくことが大切だと思っておりますので、評議員の皆様からも忌憚のないご意見をいただければと思っております。

- (4) 諸連絡・日程説明（副校長）
 - ・資料の確認、日程確認、授業参観順の確認
 - ・自己紹介

2 授業参観（各学部主事） 9:40～10:20

小学部 算数
中学部 現場実習
高等部 作業学習

3 報告 10:25～10:55

- (1) 令和元年度学校経営について（校長）
- (2) 令和元年度小学部・中学部・高等部経営方針について（各学部主事）
- (3) その他（副校長） 昨年度・今年度の学校行事の様子等の映像紹介

4 提言（各評議員） 10:55～11:10

○ A 氏

学習している様子を初めて見ました。まじめに取り組んでいるのを見て、いいことだなと思いました。実習だということで普段とは違っていただけたかもしれませんが、それぞれに合った支援をいただいていると感じました。

○ B 氏

入学式や運動会に関わらせていただいて感じていることですが、小学校からずっと交流してきているので、障害をもっている方々と普通に接することができる子ども達だなと感じています。うち

の学校でも総合的な学習のメインテーマがつながりとなっていて、その中心となっているのが恵風支援学校との交流です。ほかの学校では、このような密接な交流はほとんどない。一部の生徒だけなので、全員が交流できるのは素晴らしい。日頃は関心を示さない子ども達も支援学校に行くと違うと元校長も話していました。心を育てる上で、貴重な機会となっています。

また、支援学校を進路先の一つとして考えている生徒への進路指導をする際、中学校やご家庭が知りたいことは、「卒業した後にどのような進路先があるのか」ということです。障がい者雇用率制度の拡大によって、今後も一般企業や公共団体での障がいのある方々の採用が広がっていくことが予想されます。しかし、保護者や学校関係者の中には、「養護学校に行っても就職できない、無理してでも普通高校へ行かせたい」と考えている方が多いと感じます。そのような考えを改めてもらうためにも、卒業後の進路についても情報をいただくと中学校の進路指導に役立つかなと思います。また、今日参観した子どもたちのように「一つのことを黙々と取り組む」という姿勢は素晴らしく、このような支援学校の生徒たちの素晴らしさを保護者や企業など多くの方々に知ってもらえば、支援学校に対する理解も進むのかなと感じています。

○ C 氏

授業を拝見させていただいて、恵風の課題は、私達と同じで、医ケア児のご家族の負担が軽減されていないことではないか、短期入所先がないということを確認しています。岩手県でも、障害者施設が満杯なので、老健施設に間口を広げようとしてきましたが、遅々として進まない現状があります。看護師さんを確保していかなければならないなど、現場に制度が追いついていないという現状が実はあります。医ケア児の方々にどう教育をしようかと先生方の一所懸命な姿、水分摂取を一所懸命にやる姿を見て、マンパワーの不足を感じます。学校現場と施設の人員配置は違うものから、どうしても課題となっていくのかなと思っていました。

もう一つ、高度障害のあるお子さんの行き場所ですね。どうしても集団生活が適応できないお子さんの場合だと、なかなか施設の方の間口が広がらないとか、短期入所を受けてもらえないとかがあります。実際、何名かのお子さんから入所施設の相談を受けております。学校場面で、一生懸命やりながらも、進路をどうしていくのかなという課題もあらためて見せてもらいました。

就労アセスメントでも非常にご迷惑をかけている状況もあります。実習された学校の先生方の力を信じて、それをそのまま適用していいのではないかとわたし個人としては思うところもありますが、制度上そうっておりますので、今年度も慌ただしく高等部3年生のみなさんのアセスメントをみていただく感じになるのではないかなと思いながら見せていただきました。

最後に、もう一つ、通学路どうなのだろうかと思っています。計画はあると聞いております。学校が生徒を大事にと思うのであれば、もしかして、これが特別支援学校でなければ整備が早かったのかなと思うこともあるのですが、この整備の計画を進めて、スクールバスが余裕をもって通れるように、冬でも通学できるようにならないものかなと思っていますので、それも加えてお願いします。

○ D 氏

お子さん達の進路選択に関わる中でお子さん達が恵風を交通手段のことで断念されたりするところもありますので、そこはぜひ進んでいけたらいいのかなと思います。先生方が一人ひとりのお子さんの個性に合わせて、教室内の環境を配慮されていると感じました。時計が1から12表示ではなく、1から24の細かい表示のものを使っている時計のクラスがありました。お子さんに合わせて時計を使い分けているというのは、なかなかほかの学校さんでは見かけないので、そういうところ

もすごく勉強になるなと思って見させていただきました。そういうノウハウの部分、わたしどもも伝えきれないところもあるので、学校のお子さんだけでなく、できれば、幼稚園、保育所も、ぜひ一緒に回らせていただいて、幼児期から一貫した支援をさせていただければいいのかなと思っています。

○ E 氏

子どもが恵風に入って7年目です。入学当初はどうなることかと思いましたが、無事、小学部を卒業しました。中学部になり、昨日から初めての実習が始まりました。先程、仕事をしている様子を見てきました。ちゃんと座って仕事をして、先生の顔を見て話しているのを見ました。自分の世界で自分が動きたかったら動くという感じで、全然座れなかった子が、授業時間50分間を座っていられるようになったことに、先生方のおかげで、ここまで育ったなあと感謝で一杯です。普段、先生達にも見てもらっているので、わたしもできる限り学校に協力したいと思っているので、これからもよろしくをお願いします。

○ 校長

本校の課題は通学路だと思います。本来40人乗りのバスが行き交うようなところではないかなと思います。実際に、バスの希望者が漏れて、保護者の方をお願いしている生徒もおります。ゴルフ場に向かう大きな車が行ったりしますので、なかなか大変です。崖崩れとか、心配なところもありますので、改善されるよう求めていきたいと思っています。

また、本校の役割というものをもうちょっと地域に周知してもらうような活動が必要かなと考えております。奥まったところにあるので、どこにあるのだろうと思っている宮古の方々もいるのではないかと思います。何かの活動のときに、そういうところを発信していくような形で進めていきたいと思っています。評議員会として来られること以外にも何かありましたら、ご意見をいただければと思います。よろしくをお願いします。

5 閉会行事 11:15

(1) 閉会の言葉 (副校長)